



エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは公益財団法人日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料ならびに商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2015.2.20 No. **94**

「エコマークアワード2014表彰式」および2014年度「エコマークフォーラム」開催のご案内

エコマークでは、今年度のエコマークアワードの表彰式と、消費者、事業者等ステークホルダーが集うコミュニケーションの場である「エコマークフォーラム」を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

◆日 時：2015年3月5日（木） 表彰式 10：45～11：30
フォーラム 13：30～16：30（13：00開場）

◆場 所：東京ウィメンズプラザ・ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

◆参加費：無料（定員200名、先着順）

〈エコマークフォーラム プログラム〉

- ・エコマークアワード2014受賞団体による受賞事例紹介
- ・パネルディスカッション：テーマ「マルチステークホルダーの協働でつくる環境配慮型社会」（仮）
- ・エコマーク年次活動報告

◆参加申し込み方法：氏名、所属先（会社・団体・学校名等）、部署、電話番号、Eメールアドレスを明記の上、Eメール、FAXまたは電話にてお申し込みください。ウェブサイトからも申し込みができます。
Eメール：forum@ecomark.jp FAX：03-5643-6257 電話：03-5643-6255

* 詳細は、エコマーク事務局のウェブサイト（<http://www.ecomark.jp/info/forum/2014.html>）をご覧ください。

エコマークアワード 2014 受賞者決定！

「エコマークアワード2014」受賞団体・商品

金 賞	シチズン時計株式会社	時計で初めてエコマーク取得！シチズン エコ・ドライブとその普及にむけた展開
銀 賞	株式会社伊藤園 株式会社初田製作所	茶殻リサイクルシステム ～茶殻を身近な量にリサイクル～ これまでも、これからの消火器も、エコフレンドリー ～世界初 次世代型樹脂製消火器 CALMIE とエコマークの普及～
銅 賞	株式会社ヨコタ東北	エコマークの容器を通してできる環境・福祉・教育
特 別 賞	中野区	エコマークを集めてエコポイントがもらえる「なかのエコポイント（環境商品コース）」について
プロダクト・オブ・ザ・イヤー	ホテルオークラ東京ベイ	〔認定番号：13 503 001〕（株式会社ホテルオークラ東京ベイ）

認定基準に関するお知らせ

認定基準の改定

以下の認定基準の部分的な改定を行いましたので、お知らせいたします。[改定日 2014 年 12 月 1 日] (Version の No. は改定前のもの)

類型番号	商品類型名	改定のポイント
120	紙製の印刷物 Version 2.6	関係する商品類型およびグリーン購入法との整合
131	土木製品 Version 1.16	分類 F～舗装・道路用材～ へのリサイクル品の追加

◆改定点の詳細については (http://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/) をご覧ください。

委員会報告

運営委員会 (第 33 回)

第 33 回運営委員会が 2014 年 10 月 3 日に開催されました。

◆議事内容および資料等詳細は、(http://www.ecomark.jp/office/organization/steering_data/) をご覧ください。

基準審議委員会 (第 15 回)

第 15 回基準審議委員会が 2014 年 11 月 7 日に開催されました。

◆審議事項および資料等詳細は、(http://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/) をご覧ください。

新 認定商品のご紹介

エコマーク認定の太陽熱利用システムが登場

太陽熱利用システムは、他の再生可能エネルギー機器に比べエネルギー変換効率や費用対効果が非常に高く、家庭からの CO₂ 排出量の約 3 割を占める給湯・暖房利用時における排出削減に貢献し、地球温暖化の抑制につながります。

エコマークでは、太陽熱利用システムの基本性能に

加え、太陽熱を有効に利用できる機能、施工品質や維持管理体制などの長期使用、有害物質の低減など、総合的な環境性能を評価した商品類型 No.154「太陽熱利用システム Version 1」の認定基準を 2013 年 10 月に制定し、このほど株式会社ノーリツが本基準で初めてとなるエコマーク認定を取得しました。

認定を取得したシステムは、太陽熱利用ガスふろ給湯暖房システム「XF シリーズ」、太陽熱利用ガスふろ給湯システム「VF シリーズ」の 2 製品で、太陽エネルギーで沸かしたお湯と補助熱源機のエコジョーズで家中の給湯・おふろ沸かし・温水暖房 (VF シリーズは給湯・おふろ沸かし) を行います。本システムにより、XF シリーズ (集熱面積 4m²) では約 40 %、VF シリーズ (集熱面積 6m²) では約 60 %の CO₂ 削減効果が期待されます (4 人家族、LP ガスとの比較時)。



太陽熱利用ガスふろ給湯暖房システム
XF シリーズ (認定番 14 154 001)



太陽熱利用ガスふろ給湯システム
VF シリーズ (認定番号 14 154 002)

スキャナのエコマーク認定商品が誕生しました

エコマークでは、従来のNo.117「複写機 Version 2」、No.122「プリンタ Version 2」認定基準の全面的な見直しを実施し、2014年5月にNo.155「複写機・プリンタなどの画像機器」新基準を制定しました。スキャナは新基準において初めて認定対象となり、2014年12月に最初のエコマーク認定となる2商品が誕生しました。

認定されたスキャナは、いずれも最も一般的なフラットベッドタイプ（原稿をガラス台に固定し、下から光を当てて画像を読み取るタイプ）で、認定の要件である再生プラスチックの使用、軽量化やリサイクルしやすい製品設計、省エネ性能、有害物質（欧州のRoHS指令や発がん性物質等の規制にも対応）に関する基準に適合するとともに、使用時に機器から発生する音も抑えられています。省エネ

の国際基準である国際エネルギースタープログラム、ならびにグリーン購入法の特定期間品目の判断の基準にも適合した、先進の環境配慮型製品です。

今後、この分野でのエコマーク認定商品がさらに増えてくることが期待されます。皆様もスキャナを購入される際には、エコマークを目印に購入してみてはいかがでしょうか。

商 品 (写 真)		
商 品 名	EPSON フラットベッド スキャナー GT-S650	FUJITSU Image Scanner fi-65F
会 社 名	エプソン販売株式会社	株式会社PFU
認定番号	14 155 038	14 155 039

トピックス

GEN 年次総会に出席しました

2014年9月23日～26日に中国・北京で開催された世界エコラベリング・ネットワーク（Global Ecolabelling Network、以下GEN）の役員会および年次総会に出席しました。エコマークが務めているGEN総務事務局の任期の延長やブラジルの Falcao Bauer Eco-

label Brasil とベトナムの Vietnam Green Label の準会員としての加盟が承認されました。併せて、GEN 設立 20 周年および中国環境ラベル 20 周年記念式典が行われました。

日中韓環境産業円卓会議に出席しました

2014年11月20日、21日、第14回日中韓環境産業円卓会議が香川県高松市で開催されました。3カ国の環境産業の交流を目的とした本会議の第3セッション「環境ラベル」にエコマーク事務局が出席し、日中韓の

環境ラベル間の相互認証の進捗を報告しました。本会議中、日中韓相互認証における「テレビ」の共通基準の合意書の締結を行いました。

海外環境ラベルと相互認証協定を締結しました

2014年9月、タイグリーンラベルを運営するタイ環境研究所と相互認証の認証手順や運用方法等の実務について定めた認証手順の規則を締結しました。同時に「プリンタ」および「複写機」分野における共通基準項目が合意され、両基準において相互認証の運用が正式に開始されました。

また、北米 ECOLOGO を運営する UL Environment, Inc. およびドイツ ブルーエンジェルを運営する

ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省、ドイツ連邦環境庁、ドイツ品質保証・表示協会と、それぞれ相互認証協定を締結しました。今回、両プログラムとの相互認証の基本的な枠組みが整備され、今後は相互認証の本格実施に向けて、「複写機」「プリンタ」などの分野における共通基準項目の合意を目指し、協議を継続していきます。

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」に参加、出展しました

2014年10月15日から11月14日の1カ月間、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市において「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」が実施されました。本キャンペーンはグリーン購入の普及と定着を目的とし、

今年度はESD ユネスコ世界会議の開催に合わせて行われました。実行委員として参加しているエコマーク事務局は、期間中キャンペーンイベントに出展し、エコマーク認定商品の展示を行いました。

各地の環境イベントに出展しました

エコマークは、各地で開催された下記の環境イベントに出展しました。

- ・2014年9月23日 「エコメッセ2014 in ちば」：幕張メッセ（千葉県）
- ・2014年9月27日、28日 「ひめじ環境フェスティバル2014」：
大手前公園（兵庫県）
- ・2014年10月5日 「水戸市環境フェスタ2014」：偕楽園（茨城県）

「エコメッセ2014 in ちば」出展の様子



セミナーを開催しました

2014年11月12日に「ドイツ・欧州の環境規制動向セミナー2014」を開催しました。ドイツ在住の環境規制コンサルタント 望月浩二氏より、ドイツの環境ラベル、ブルーエンジェルに関する情報やドイツをはじめ

め欧州（EU）の環境規制など、欧州直送の話題を紹介いただきました。本セミナーは毎年開催しているもので、本年も秋頃に開催を予定しています。

「エコプロダクツ2014」に出展しました

2014年12月11日～13日に東京ビッグサイトにて開催された「エコプロダクツ2014」に出展しました。エコマークが認定基準策定時に考慮する4つの重点項目ごとのテーマ展示を中心に、過去4回行われたエコマークアワードの受賞団体・商品、25周年を迎えたエコマークのあゆみなどをパネルで紹介しました。ブースの一面に設けた相談コーナーには多くの方々が来られ、認定取得の相談や認定基準に関する問い合わせにお答えしました。

また、イベント初日の11日には、エコプロダクツ2014併催シンポジウム「ASEAN地域における持続可能な消費と生産に向けたグリーン公共調達と環境ラ

ベル」を開催しました。国連環境計画（UNEP）およびASEAN地域より専門家を招き、各国のグリーン公共調達とそれに密接に関係するタイプI（ISO14024）環境ラベルについて、解説とディスカッションを行いました。

エコマーク展示ブースおよびシンポジウムにお越しいただきありがとうございました。



「エコプロダクツ2014」のエコマーク展示ブース

エコマークニュース 第94号 2015年2月20日発行

編集・発行／公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL：基準・認証課 03-5643-6253 FAX：03-5643-6257（各課共通）

総務・契約監査課 03-5643-6255

普及・国際協力課 03-5643-6255

Homepage：http://www.ecomark.jp

E-mail：info@ecomark.jp



エコマークは（公財）日本環境協会の登録商標です。